TTC山行実施記録表

平成22(2010)年11月07日　報告者:佐々木

山行名	**御　坂　黒　岳**　（1792.7m／山梨県）
実施月日	平成 22年11月 06日（土）　交通手段:マイクロバス
天候／参加人員	天候: 晴　レベル:★★　参加人員【申込: 25名、参加: 24名（男10／女14）】
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL/計画:　SL:　救護:　会計:　氏　名　削　除
参加メンバ	氏　名　削　除
費用 **2，800円** TTC積立金 2，260円	支出:　高速代:500円×2=1,000円、マイクロバス:40,000円、燃料代:110×270km/5km=5,940円 ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼:18,000円、支出合計:64,940円、 収入:@2,800円×24=67,200円−64,940円=2,260円（TTCカンパ金）

実行ｺｰｽﾀｲﾑ

9/19（土）晴

本厚木 ==== 相模湖IC ==== 談合坂SA ==== 河口湖IC ==== 天下茶屋 ---- 清八峠分岐 -----
6:15　7:40　7:50　8:02　8:28　9:01　9:15　9:37　9:40
0.35　0.35　0.27　0.03　0.03　0.19

御坂山 ----　御坂峠 ---- 1640m地点 ---- 黒岳山頂 ----- 展望台 ---- 黒岳 ----
10:20　10:30　11:05　11:15　11:50　11:58　12:25(昼食)13:02　13:05　13:12　13:15
0.16　0.23　0.45　0.55

すずらん峠 ---- 破風山 ---- 新道峠 ---- 林道 ---- 大石公園 ==== 河口湖IC ====
13:34　13:50　14:00　14:23　14:25　15:10　15:20　16:15　16:30　17:13

談合坂SA ==== 相模湖IC ==== 本厚木
17:40　18:00　18:43　20:10頃

歩行／行動時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	4:35		
計画時	5:40	1:30	7:10
実行時	5:23	1:37	7:00

コースの概要、特記事項、反省事項・等

車窓からは、八合目付近から上が白く輝く富士が眺められ、今日は絶好の登山日和である。道路も混むであろうと予測したが、相模湖ICまでが混雑したが、高速道はさほどでもなかった。予定時間丁度に天下茶屋に到着。

茶屋前にはすでに数台の車が駐車していてマイクロバスをUﾀｰﾝさせるのがやっとであった。ほとんどの車は登山者ではなく、富士山の写真撮影などの観光客である。天下茶屋のトイレを借り出発、登りはじめてすぐに太宰治の碑を右に見ながらジグザクの階段が続き、まだ慣れない身体には少々きつく感じる。しかしまもなく分岐に到着、ここからは御坂山塊の快適な稜線歩きが始まる。ほとんど葉を落とした木々の間から射す光が心地よい。

今回は残念ながら1名が体調不良で参加できず、24名での山行である、先頭から最後尾までの行列はさすがに長い。これだけ長いとどうしても間が開いて列が乱れてしまうのでサブリーダーは苦労する。先頭も最後尾を見ながら歩くのであるが、さすがにTTCのメンバーは慣れていて24名がピタっと列をなして、思ったより列が乱れず一団となって歩いていた。このコースはいくつものピークを越えなければならず、小さなピークも入れると7つほど越えることになる、みんなにこのことを言うと、最初は数えていたが途中で分からなくなってしまったようだ。

御坂峠にはまだ茶屋の跡がそのまま残っている、昔はそれなりに人の往来が多かったので、繁盛したのであろうが、今は登山者も少ない山になってしまった。隣の三つ峠にはあんなに登山者が多いのに、ここは別世界のように静かである。

それでも黒岳までくると何組かの登山者が居て、それなりににぎやかである、いや、自分たちが一番にぎやかかもしれない。昼食の後、展望台を往復したが、展望台へ着いた時だけ富士山の頂上付近に雲がかかって顔を隠してしまった。TTCの美女に大挙して見られたら恥ずかしいのかも、かわいそうなのですぐに引き返してきた。

破風山を越え、新道峠の少し手前には富士山の定点カメラが設置してあり、リアルタイムに富士山の姿が見られるらしい、この画像はパソコンなどで見られるとあって、カメラの前で手を振ったり、アカンベーと舌を出したり、こんな絵が送信されたら画像を見た人はびっくりするだろうなと思うと、なおさら童心に帰っておどけたくなる。

新道峠からの下りは道も狭く、急坂を稲妻状に下るがこれが非常に長く感じる、唯一救いはツルリンドウの花がとても綺麗に咲いていた。そこで「あちこちにツルリンドウの花が咲いている」って書こうかなと言うと、二ヶ所しか咲いてないので「あっち、こっち」でしょうと言われてしまった、しかし歩くにつれてこのリンドウがそこここに咲いていた、やっぱり「あちこちに咲き乱れていた」と書こう、なぜなら今回はこの花と野菊しか見当たらないのである。

やっと林道に到着するが、この林道がまた長い、砂利道はまた歩きにくい、ツルリンドウのあとはジャリリンドウかよとぼやきたくなる。しかし、日が暮れる前に林道へ到着できたので一安心、もういつ暮れてもいいぞと強気。

マイクロバスが待っている大石公園に到着する頃はかなり冷え込んできた。この公園からが紅葉祭りの会場になっていてかなりの人で賑わっていた。車も多くなかなか進めない、今日の温泉は1対23で否決され、帰路に着くことに決定、この冷え込みでは湯冷めしてしまうかもしれないので、冬場は汗もあまりかかないので正解かもしれない。紅葉祭りの会場付近の渋滞を抜けると、スムーズに走り、高速道路も思ったより走れた。ただ談合坂から相模湖ICまでは人が歩く速度程度の速さしか進まない、それでもここまで来れば結構でしょう。

いたらぬリーダーのもと、24名のご協力により、無事終了できたことに感謝します。